

1 日本を含む150カ国でサイバー攻撃

5月12日、欧州や日本を含む150カ国の世界各地でランサム（身代金）ウェアによる被害が発生し、被害数は20万件以上とされています。

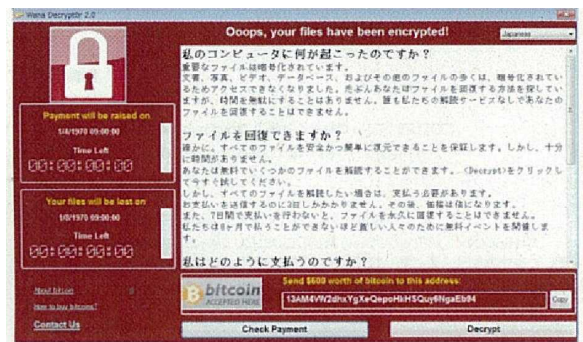
サイバー犯罪の標的は、「官庁や機密情報を持つ企業」だけでなく「あらゆる企業」や「一般家庭」まで対象が拡大しているため、各人で適切な対策をしてパソコンを自分自身で守る必要があります。

2 岡山県でもランサムウェアの被害が！

ランサムウェアは、ウイルスに感染したコンピュータの機能を制限し、その制限の解除と引換えに金銭を要求する身代金要求型のコンピュータウイルスです。感染した端末だけではなく、共有サーバや外付けHDDに保存されているファイルも暗号化されることもあります。

5月15日、岡山県内でも被害を確認しています。

<感染した際に表示される画面>



3 ランサムウェアの感染経路

①メールからの感染

- ～メールの添付ファイルを開くことで感染
- ～メール本文中のURLにアクセスすることで感染

②ウェブサイトからの感染

- ～改ざんされた正規のウェブサイトや細工された不正広告を閲覧することで感染
- ～ウェブサイトからダウンロードしたファイルを開くことで感染

コンピュータネットワーク内で感染するとの情報があります



4 被害防止対策

①脆弱性の解消～毎日、新しいウイルスが作られています！

- ☆OSやアプリケーションの更新を行い、最新の状態にする。
- ☆ウイルス対策ソフトやセキュリティアプリを導入し、自動更新する。

②メールやSNSの添付ファイルやURLに気をつける

心当たりのないメールや英文など文面の意味が分からないメールの添付ファイルを開かないことが重要です！

③定期的にデータのバックアップを

ランサムウェアに感染すると、ファイルが暗号化され開けなくなってしまうので、重要なファイルは定期的にバックアップしておくことが必要です。